

令和5年度(2023年度)

第15回シニアライフ講演会

第2部 メインテーマ：
「皆さん野外活動をしませんか」

市内で活動する市民団体

1
公益財団法人
かわさき市民活
動センター

2
公益財団法人
川崎市公園緑地
協会

3
NPO法人かわさ
き自然と共生の
会

4
柿生の里クラブ

5
生田緑地の雑木
林を育てる会

6
南野川特別緑地
保全地区管理運
営協議会(野川
はあも)

7
津田山緑地里山
の会

8
まほろばの会

9
宮前ガーデニン
グ倶楽部

10
生田根岸古墳の
杜保全会

11 プレゼン
飛森谷戸の自然
を守る会

12 プレゼン
水沢森人の会

13 プレゼン
里山フォーラムin
麻生

14 プレゼン
セレサ川崎農業
協同組合

15 プレゼン
NPO法人かわさ
き歴史ガイド協会

16 プレゼン
NPO法人東海道
ウオークガイドの
会

17 プレゼン
NPO法人多摩川
エコミュージアム
の会

18 プレゼン
認定NPO法人か
わさき市民アカデ
ミー

19 プレゼン
認定NPO法人ア
クト川崎

20
井田カネフラ

21
うつ病支援の会
あさお

22
NPO法人川崎介
護福祉会

23
NPO法人ナルク
川崎

24
かわさきプロジェ
クト+

25 プレゼン
認定NPO法人か
わさき創造プロ
ジェクト

特別
川崎市健康福祉
局高齢者在宅
サービス課

特別
(株)フォートナカ
イ

令和5年10月31日開催

1

公益財団法人かわさき市民活動センター

市民活動の中間支援組織であり全市拠点

理事長 小倉 敬子

市民活動推進課 ☎ 044-430-5566

《おもな市民活動推進事業》

- 活動拠点施設運営事業:会議室・フリースペース・印刷室・市民活動ブース・ロッカー等
- 情報提供・啓発事業:情報紙「ナンバーゼロ」の発行、ポータルサイト運営他
- 活動促進事業:ごえん楽市、ごえんカフェ、ミニカフェの開催等
- 研修・人材育成事業:パワーアップセミナー、市民記者養成講座の開催等
- 相談事業:NPO向け専門相談等
- 公益活動助成金事業:スタートアップ(上限10万円)、ステップアップ(上限30万~200万円)

メール: suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

《当財団のミッション》川崎市における市民活動の中間支援組織として市民相互の連携を図りながら市民活動の活性化を促進するとともに、青少年の心身の健全な育成を図るため、青少年事業の推進及び地域組織への支援を行い、もって住みよい地域社会の確立に寄与することを目的としています。



11月18日(土)10:30~15:30、かわさき市民活動センターおよび中原市民館にて「ごえん楽市2023」を開催します。64団体が出展しますのでぜひお越しください！

HP: <http://www1.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp>

2

(公財)川崎市公園緑地協会

汗して守ろう！かわさきの緑

理事長 宮村俊秀

緑の推進支援課 044-711-6631

主な事業紹介

- ・かわさきの森づくり(里山ボランティア育成事業)
- ・こども黄緑クラブ(自然体験教室)
- ・花と緑のまちづくり講座(緑化推進リーダー養成講座)
- ・花壇ボランティア実践講座
- ・「緑の活動団体」助成事業
- ・「ボランティア通信」の発行 年7回
- ・交流事業の開催
- ・思い出記念樹「樹繫(きづな)」
- ・わがまち花と緑のコンクール
- ・その他

メール: y.yagyu@Kawasaki-green.or.jp



かわさきの森づくりの様子

HP: www.kawasaki-green.or.jp

NPOかわさき自然と共生の会

麻生区岡上の緑地保全活動

代表 堂前雅史 ☎044-989-7777内線4311

<発足から今日まで>

- ◆ゴミ捨て場と化していた谷を緑地として活用すべく川崎市と交渉。
- ◆2000年任意団体として発足、2003年NPO法人となる。
- ◆コナラやクヌギを植樹し、開墾して散策路を開く。
- ◆昆虫の住処となるカントリーヘッジづくり。
- ◆自生していたヨシを活用して茅葺屋根をつくる。
- ◆植樹した林の間伐材をシイタケ栽培に活用する。

メール: okagamitomoiki@outlook.com

のんびり梨子ノ木(なしのき)緑地を散策し、自生している野草や花を観察します。軽い運動で健康な身体を保ちます。



HP:

柿生の里クラブ

柿生のみどりの小舟にどうぞ

代表 石井 よし子 ☎ 070-6426-6123
副代表 高橋 靖 雛倉 正人

<柿生の里クラブは2010年に発足>

- ・おっ越し山ふれあいの森から連続した多摩丘陵の尾根筋-柿生の里散歩道のコアとなる場所が柿生の里特別緑地保全地区として残されました。
 - ・1998年おっ越し山での活動が始まってから12年を経て新たに「柿生の里クラブ」ができました。地域の自然・歴史・文化を活かした昔ながらの里山の再生を目指しています。
- <多摩丘陵の自然が復活しつつあります>
- ・緑地は植生も地形も大変多様で複雑です。それぞれの場所にふさわしい作業となるよう、植生別13のゾーン図の作成、作業予定表を作り、自然の状況を見ながら会員間で共有して行います。
 - ・この貴重な自然が地域の子どもの体験学習・環境学習の場として活かされ始めました。

メール: ishiiyoshiko.works@gmail.com

柿生駅から徒歩7分の近さで多摩丘陵に出会えます！
第2日曜、第4水曜の午前中が定例活動日です。
野外活動を楽しみましょう。ぜひいらしてください。

- ◆自然の中で気持ちの良い汗を流している仲間たちは40代前半から80代後半まで約30名ほど。先輩から技や知識を受け継ぎ、専門家からは教わりながら、楽しく各世代で助け合いながら活動を進めています。



柿生の里の広場からの風景(夏)

柿生の里の面積は19,000㎡。複雑な谷戸地形です。
春夏秋冬の美しい風景の中で多様な作業をしています。

公式facebook 柿生の里クラブ

生田緑地の雑木林を育てる会

自然を相手のボランティア

代表 村上 功 ☎ 090-4532-1216
連絡者 白澤 光代 ☎ 044-900-1902

<創設者の趣旨は>

- ・手入れされずに荒れた放題だった生田緑地の花と林を復活させるために作られた会です。
- ・笹刈りをして、放置すれば荒れ放題になる。
- ・継続が大事です。
- ・生田緑地の散策路を気持ち良い状態に保つ。

<活動の特徴>

- ・月2回 第2第4日曜日に9時から12時まで
- ・SL付近に集合し会の道具を持って作業場所へ
- ・作業は笹刈りが多いが、竹除伐もある。
- ・アジサイ山、ツツジ山では花後剪定します。

メール: fwnb8550@nifty.com

<発足から今日まで>

- ・1998年発足
- ・はじめは毎回公園事務所と相談し、作業場所を決めていた。
- ・現在はツツジ山、アジサイ山、長者穴の付近、バラ園西口付近、おし沼等、担当する場所が決まっている。



- ・7月最後はアジサイの花後の剪定の後で暑気払い
- ・12月は作業の後で忘年会、1月は新年会。
- ・4月は総会の後で懇親会。

HP: <http://www.ikutaryokuchi.com>

南野川特別緑地保全地区管理運営協議

野川のみどりを知る学ぶ守る遊ぶ育む
野川はあも

会長 伊藤菊代 ☎ 044-856-5201

ちょうど20年前、やぶ状態のふれあいの森を、自分たちでやれることをして、地域の人に来てもらおうと有志6人で森の保全管理作業を始めました。活動は子育て世代もいたため、子どもも一緒。だから楽しく安全が最優先でした。それが続いて、今も親子や家族で参加してくれるので、シニアにとっては孫と一緒に気分とか。

第1日曜日第4土曜日が活動日、

まずは森の生き物の観察のため「はあもビンゴ」をして、それから季節に応じた作業(下草刈り、倒木処理、落ち葉かき、常緑樹の伐採、苗木の植え付けなど)を行っています。

メール: info@nogawahaamo.com

よちよち歩きのばぶばぶチビさんから、小学生たまに中高、大学生、そしてママパパ、爺から婆まで、背高のつぼのどんぐりの林(南野川ふれあいの森)で、森を守り育て、あそんでいます。約1haの斜面緑地では、様々な生き物を見ることができます。この場所を次世代につなげるために、楽しく汗流しませんか。



5周年を記念して、デザインも作成も自分たちで行ったテントウムシの掲示板。昨年2回目の塗り直しをして、またピカピカになりました。森の目印です。

HP: <https://nogawahaamo.com>

津田山緑地里山の会

参加できるときにできることを

会長 井上 由美
幹事 山口 和子 ☎044-811-2706

- ・川崎市が交換取得した多摩川崖線に残された斜面緑地を、保全管理計画に基づき管理する任意団体。
- ・20年に渡る活動により、常緑樹やメダケが茂る暗い林から明るい林に変化し、春の野草の花々が楽しめる。
- ・近隣住宅地や市内他地区の幅広い地域からメンバーが参加。月1回の定例活動日を設けていますが、参加できるときにできることをモットーに、無理せず続けています。
- ・作業内容: 草刈り、樹木剪定、斜面林整備、シイタケ栽培など

メール: tsudayama.midoriko@gmail.com

- ◆2002年4月に発足。放置されていた斜面林を落葉樹林に向けて管理し、明るい林になることを目標にしている。
- ◆住宅地の中にある貴重な緑地として、近隣住民の憩い、子ども達の学びと遊びの場として活用できるように活動を行っている。



湿度と気温の条件が揃えば、シイタケが満開(2017年)
(菌の駒打ちも自分たちで行いました)

HP: <http://tsudayama.web.fc2.com/>(不定期更新)

まほろばの会

緑地の保全、健康増進、住民交流

代表者: 樋口 恵吾 ☎ 044-712-5935
担当者: 鈴木 経彦 ☎ 044-954-2955

【活動内容】

- ① 緑地の樹木・希少草花の保全
→ 下草刈り、枯れ枝の整理、竹林伐採
- ② 遊歩道安全柵、休憩卓・ベンチの整備
- ③ 植物観察会、木の実細工講習会
- ④ 年3回、懇談会を兼ねた安全講習会、他団体の緑地活動紹介スライド

【活動日・集合場所】

- ◆ 活動日: 毎月第三土曜日(雨天の場合は次週順延)
- ◆ 集合場所: 寺尾台団地18号棟横休憩卓・ベンチ広場
- ◆ 持ち物: 飲料水・軍手・汗拭き

連絡先メール: tsune-s@msa.biglobe.ne.jp

【発足と活動歴】

- ◆ 2004年「まほろばの会発足」
- ◆ 2023年で活動歴20年
- ◆ 緑の愛護国土交通大臣賞受賞
- ◆ 神奈川全国植樹祭で景観賞受賞
- ◆ 川崎市長より活動団体感謝状受賞
- ◆ 作業後と年三回の懇親会による親睦



- ◆ 掲載写真は活動作業後の懇親会の団欒風景です!
- ◆ 是非ご連絡ください(ファックス又はメールで)。
- ◆ ご都合のつく日だけの参加を歓迎します!

HP: 無し(会員には会報を提供)

宮前ガーデニング倶楽部

花と緑で町のコミュニティーを広げよう

河井明子 080-5040-7746

1999年、宮前区のまちづくりプランをもとに立ち上げた市民活動団体です。

宮崎台駅、宮前平駅、宮前区役所周辺の公共用地での花壇づくり、手入れのみならず、地域のイベントや祭りにも参加し、メンバー同士、街の方との交流を深めています。

メール: garden.aki@gmail.com

定例活動は水・土の午前中、どなたでもいつでも好きな時に参加できます。
年会費1,000円



(宮崎台駅前花壇)デザイン、手入れをメンバーと楽しみながらしています。又、街の方からも声をかけられることもしばしばでやりがいを感じます。

HP: www.facebook..宮前ガーデニング倶楽部2015

生田根岸古墳の杜(もり)保全会

竹林美化、安全第一、充実の半日

代表 金子 政男 ☎ 044-911-6214
事務局 金子 守正 ☎ 044-911-6620

【根岸古墳】 昭和26年世田谷町田線(津久井道)の盛土採取で、丘陵を削ったところ、複数の古墳が発見された。市内の多くの遺跡は土地開発と共に消滅したが、この古墳は造築されたままの状態で見守り(6世紀後半以降)。

【保全活動】 60年前は栗林であったが、現在は孟宗竹が植生を支配し、活発な生育が繰り返されている。本会は近隣住民を核に、市と緑地指導員のサポートの下、2009年発足。爾来、次世代に残す緑の里山を目標に、安全第一の活動の中、景観を創造することで、多くの意見交換を重ね、絶えず進化する、ストレスの無い集団を目指し活動中。

(会員約40名:常時10-15名出席)

メール: morkaneko2006@hotmail.co.jp

<具体的活動内容>

- 日時: 毎月第2、4日曜日9:30-11:30 雨天中止
- 場所: 生田榎戸特別緑地保全地区フルーツ広場
小田急線向ヶ丘遊園北口徒歩12分
多摩警察署交差点より南西200mの丘陵
- 竹間伐、タケノコ植生管理、緑地・遊歩道整備
- 会費無し、活動しやすい服装・靴、道具貸与・指導有り



令和3年9月全国「みどりの愛護」のつどいに当り、国土交通大臣より当会緑化活動に対し感謝状受賞。

グループメール: ikuta-bamboo@googlegroups.com

11 プレゼン

飛森谷戸の自然を守る会

森林保全活動／ホテル樓む里山作り

代表 高木 一弘 ☎ 044-977-6581
事務局長 池ノ内 伸行 ☎ 042-652-9183

<創設の趣旨は？>

- 営利を目的とするものではなく、自然環境を保護し、育てる事を主目的にしております。
- 多くの動植物が共存しているこの谷戸を、私達の手でよりよい自然環境としての生活環境へと導いて行きたいと願っており、雑木林で楽しく遊びながら自然との共生の大切さを学び伝えていきたいと思っております。

<活動の特徴は？>

- 各種活動を通して子ども達への自然環境との共生の大切さを伝えたり活動の場を提供し地元への貢献を図ります。
- 《知覚動考》ともかくうごこう。
- 自分の体力に合わせて作業を行う。

メール: tonmori.hotaru@gmail.com

◆1996年に発足し、毎月第2日曜が定例作業日。清掃から始まり、雑木林の整備や田畑の整備を行う。季節ごとに野菜などの収穫や田植え～稲刈りを体験活動を通して提供したり、森の音楽会も年2回実施。

◆近隣の小学校などとも環境学習などを通して交流したり、地元団体との交流も行います。



定例活動日の朝の活動伝達。活動内容の確認やイベント等の情報交換なども含めて作業内容を共有し、参加者各自で出来る作業を行います。

HP: <https://sites.google.com/view/216-tonmoriyato/>

12 プレゼン

水沢森人の会

里山づくりの野外活動

代表本郷一雄 担当水野憲一 044-854-6406

菅生緑地(水沢の森)は川崎市の市民健康で、当会は市と協働するボランティア団体として2000年に設立、都市の中に里山の自然環境を復元することを目的に雑木林、竹林、草原、池などの管理を行っています。

作業は草刈、樹木の伐採、剪定、植樹など。約5ヘクタールの用地には昔からあった栗林、柿の木、梅林、畑などがそのまま残されており、果樹を育て、畑の耕作を続けながらかつての里山の景観を残す活動を続けています。

学校の野外授業、こどもたちの自然体験、収穫祭などのイベントもあります。

メール DZB10761@nifty.com

四季おりおりの野の花を楽しみながら、体を動かし汗をかいて「ふるさとの自然」をつくる仕事、みんなでアイデアを出しながら楽しんでいます。

会員は地元に限らず多摩区、高津区、横浜などからも多数参加しています。

まずは、散歩がてらに見に来てください。



高齢者ばかりではありません。若いボランティアや子連れのお母さんたちも一緒に活動を楽しんでいます。

HP <http://sites.google.com/view/mizusawamorindo>

13 プレゼン

里山フォーラムin麻生

みどりと環境を守り次世代へ

代表 堂前 雅史
事務局長 石井よし子 ☎ 070-6426-6123

<こんな思いで>

◆麻生区の足元の水と緑を、老若男女誰もが関わる里地(農地)里山(樹林地)として、その環境と文化をはぐくみたい。新しいライフスタイルを模索しながら、都市化が進む中であっても、緑や環境を守り、持続可能な未来を目指したい。

<こんなことをだいにしながら活動しています>

◇各活動の場に関わる人々や団体、学校、行政機関がお互いに交流し、課題の共有を図ります。
◇学習を通して、人々の暮らしと共にあった里地・里山文化を再発見し、人材を育成し、生物多様性を目指します。
◇これからの自然と人間の共生を考え、実践していくための情報の受発信をします。

メール: satoyamaforum@gmail.com

◆各活動団体から委員を募り実行委員会として2001年に発足。その後幹事会・スタッフが事務局を担い企画運営を行い事業を行っている。

◇実施事業 * 里地里山カフェ塾(からむし-苧麻、万福寺人参、麦) * 里地里山ナチュラルリスト養成講座
* あさお里山こどもクラブ * わたしのまちのホットする風景写真展-今編・昔編 * “里山フォーラムin麻生”第23回フォーラムは2024年2月23日(金曜-祝日)開催



↑は毎年大好評のあさお里山こどもクラブからの一コマ。親子で楽しく自然を体験・発見するプログラムです。シニアスタッフの知恵や技を活かし伝える場でもあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-16-0-0-0-0-0-0.html>

14 プレゼン

セレサ川崎農業協同組合

2つの共生～地域と共生する都市農業、地域と共済するJA～

代表理事組合長 梶 稔 ☎044-877-2111
営農支援課 矢澤 宏樹 ☎044-877-2114

【経営理念】

JAセレサ川崎は食と農を守り豊かな暮らしの実現を目指して都市農業の振興と地域社会の発展に貢献します

【具体的な取り組み】

営農経済事業全般の活動指針として「地域農業振興計画」を策定し、下記の計画を柱として都市農業が抱える課題解決に努め、地域JAとしての役割を發揮していきます。

- ①生産振興支援 ②農業経営支援
- ③販売流通支援 ④都市農地保全対策
- ⑤農へのふれあい・市民理解対策

メール: info@jaceresa.or.jp

1997年10月に市内4JAが合併し誕生。営農経済・信用・共済事業など、総合事業の強みを生かし皆さまの暮らしのトータルサポートを行っています。また、ファーマーズマーケット「セレサモス」を拠点とした新鮮で安全・安心な農産物の供給、都市農業の振興や地域貢献活動に取り組んでいます。



◆援農ボランティアと生産者とのマッチング◆
JAを通じ、市民の方がボランティアとして登録。生産者の畑などで農作業のお手伝いをしています。(2023年2月まで延べ920回活動、2023年3月116人在籍)

HP: <https://www.jaceresa.or.jp>

15 プレゼン

NPO法人かわさき歴史ガイド協会

明るく楽しく

理事長 藤田 智恵子
担当 増島忠道／044-385-1004

川崎に残る数多くの史跡などを多くの方たちに知ってもらい、後世に伝え残す一助となることを願って活動しています。
また、街づくりイベントに協力し、学校・市民への史跡ガイドを実施しています。

例)川崎大師境内駐在ガイド
企業市民交流デーに参加
東海道川崎宿ガイドツアーなど

メール: a8v7ya@bma.biglobe.ne.jp

私たちと一緒にガイドをしませんか。年齢・経験は問いません。



年会費 3000円

HP: <http://kawasaki-gaido.net/>

16 プレゼン

NPO法人東海道ウォークガイドの会

歩き、学び、感じるウォーキング

会長 大熊 茂夫
企画担当 桂 賢治 Tel:090-3130-2494

<活動内容>

- ◆ 月例会……旧東海道を日本橋～箱根宿まで宿場毎に毎月順を追ってウォーキング
- ◆ 特別例会……神奈川、東京の歴史や文学で有名なスポットを巡り、往時の名残を訪ね歩く半日の散歩
- ◆ 通し歩き例会・日本橋から沼津宿まで、約147Kmを、途切れることなく全10回(月1回)にわたって全て歩く。
- ◆ ガイド養成講座・ボランティアガイドの養成
- ◆ ガイド派遣……団体・旅行社の要請によりガイドを派遣

メール: re@tokaido-wg.com

- ◆当会は、平成14年(2002)宿駅・伝馬制度400年を契機に発足し、平成22年(2010)にはNPO法人として認可を受けました。会員約70名
- ◆東海도에まつわる歴史・文化を語り伝えるとともに、歩くことで健康維持をしたいと考えているの方々のために活動を続けています。



旧東海道大磯宿 松並木でのガイド風景
(「通し歩き例会」模様)

HP: <https://www.tokaido-wg.com/>

NPO法人多摩川エコミュージアム

ニケ領せせらぎ館の管理運営

代表理事 五十嵐 豊 ☎044-900-8386
 事務局長 升田 修二 ☎044-900-8386

<設立の目的>

水と緑の豊かな自然に彩られ、歴史的に母なる川と呼ばれてきた多摩川は流域市民にとってかけがえない財産です。地球市民会議で多摩川エコミュージアム構想が提言されました。この構想は、多摩川とその特性にふさわしい、水と緑をいかし、うるおいとやすらぎのある快適なまちづくりを目指したものです。市民や企業・行政のパートナーシップで流域のふるさと資産を、保全継承していくための活動に推進・一役を担います。現在は、如何に多摩川で楽しむかを企画検討しています。

メール: npo@tama-eco.com

<発足から今日まで>

平成11年4月ニケ領せせらぎ館が開館
 その後、多摩川エコミュージアム設立委員会が発足して、平成14年7月にNPO法人となり、ニケ領せせらぎ館の管理運営を主体に活動し、会員は約80名
 多摩川で楽しみませんか？



クリーンアップ活動について:毎月第一土曜日に、ニカ領用水・多摩川のクリーンアップを行っています。終わった後の「珈琲タイム」が楽しみです。

HP: <http://www.seseragikan.com>

認定NPO法人かわさき市民アカデミー

誰でもどこでも参加できる市民大学

・理事長:太田 猛彦 ・学長:馬場 康雄
 ☎ 044-733-5590 ※月～金(日・祭休み)

- 「市民(受講生)による運営」をめざし実践するNPOです。
- 2023年、開学30周年を迎えます。
- 優れた講師陣による時代の先を見据えた充実した講座・ワークショップ(環境・みどり、自然科学、政治・経済・社会、歴史・文学・人音楽・芸能、美術、川崎学等)を提供しています。
- 受講生がお互いに学びあい、高めあうことを大切にしています。
- 武蔵小杉の生涯学習プラザを中心に座学や野外学習など、年間100を超える講座を開講しています。

メール: info@npoacademy.jp

- ◆ 誰でもどこからでも参加できる市民による市民大学
- ◆ 拡がる・深まる知識と好奇心
- ◆ 地域社会との結びつきを大切に「地域協働講座」を開講。学習成果としての社会参加を応援
- ◆ 受講生の親睦・交流の場を提供



- ・座学ばかりでなく野外学習も充実しています。
- ・これから開講する講座、公開講座、30周年記念イベントなどに参加できます。

HP: <http://npoacademy.jp>

NPO法人 アクト川崎

川崎市地球温暖化防止活動推進センター

理事長 廣瀬健二 044-813-1313
副理事長 庄司佳子 中山育美

《設立の趣旨は?》

- 地球温暖化を危惧する市民を中心に、川崎市と連携して、省エネ／太陽光発電の普及、ごみの減量化などを継続的に取り組むために法人化しました。
- 市民の様々な環境活動のプラットフォームを目指しています。

《活動の特徴は?》

- 川崎市から「川崎市地球温暖化防止活動推進センター」に指定されています。
- 武蔵溝ノ口駅前にある“ノクティ2”の11階に事務所と展示スペースがあります。(写真)
- フードドライブ、お下がりボックスを設置しています。

メール: office@kwccca.com

環境に良い生活は快適に暮らしを実現します!

野外活動を通じて感じた「環境の変化」の実感を発信してください。

今できるエコな暮らしは、健康にも繋がります。

私たちが変わることによって社会が変わり、次世代に今の環境を引き継ぐことができます。

そのために私たちから始めましょう。



地球温暖化は、「地球沸騰化」の時代になりつつあります。この変化を少しでも緩和するために、私たちに出来ることをしよう。

HP: <https://www.cckawasaki.jp/kwccca/>

井田カネフラ

男性によるフラダンスチーム

代表 永塚 勲 ☎ 044-754-0367
事務局 永塚 博美 ☎ 044-754-0367

＜創設の趣旨は?＞

- ・ 定年退職後の男性が地域の中で生きがいを持って暮らすきっかけづくり。
- ・ 様々な世代の人たちが参加して、異世代間の交流を深める機会づくり。
- ・ 生き生きと健康に暮らし、地域参加できる活動の機会と場づくり。

＜活動の特徴は?＞

- ・ 月1回の無理のない練習会。
- ・ 専門の女性講師による親切丁寧なレッスン。
- ・ フラダンスフェスや祭礼などへ参加し、身につけた演技を披露する場。

メール: idakanefura@gmail.com

＜発足から今日まで＞

◆2022年 老人会の有志数名により講師を招いて男性フラダンスチームを立ち上げる。

◆会員数を増やし「井田カネフラ」として発足。

2023年度の「かわさき市民公益活動助成金団体」に登録。中原区民祭等での発表など活動の場を広げている。



井田カネフラHP

健康で生き生きした生活を送るためには、適度な運動と明るい笑顔が大切。簡単なステップで踊ることができ、笑顔で踊ることで気持ちも明るくなる。

HP: <http://www.nextftp.com/nagaty/>

うつ病支援の会あさお

うつ病と自殺の低減、生き心地の良い社会の実現

代表 田中元介 電話 044-953-4363

1. うつ病に関心をお持ちの方々のおしゃべり会“GENさん”のつどいを毎月開催しています。
2. 個別の相談・支援を原則として 無料で行なっています。メール、電話、“GENさん”のつどいの会場でお問合わせ・お申込みください。
3. 公開講座・学習会・検討会などを、不定期で開催しています。
学習会・講演会などへの講師派遣を行なっています。
4. 生き心地の良い地域共生社会の実現に寄与する活動を、模索しています。

メール: gensukereiko@m2.gyao.ne.jp

“GENさん”のつどいは、うつ病に関心のある方々が自由におしゃべりする場所です。参加の条件は「うつ病に関心があること」だけです。予約不要、秘密厳守、無料、おためし参加大歓迎。



“GENさん”のつどい の様子

新百合ヶ丘駅北口から徒歩2分、新百合21ビル1階の福祉パルあさお研修室で毎月1回、13時半から開催しています。実施日はホームページをご覧ください。か、電話でお問合せください。

HP: <http://web-asao.jp/hp2/utsubyou-ongaesi/>

NPO法人川崎介護福祉士会

ささえあい

代表 横手修治 ☎044-738-4601

1996年「人と地域をささえる介護の専門集団」、任意団体「川崎市ホームヘルパー介護福祉士会」発足。2009年NPO法人川崎介護福祉士会となる。ロゴに「ニコちゃんマーク」を使用。①「介護力は笑顔力」②「七枚の葉っぱ」(川崎市の七区における地域活動に貢献します。)③「命をつなぐ」(生きるとは、自己に問い続けること『葉っぱのフレディ』より)

高齢者疑似体験・車椅子体験等での講師派遣
チャレボラ・赤い羽根共同募金への参加
川崎市介護認定審査会委員団体推薦
人材育成・スキルアップの為の生涯研修

メール: shrioko6193@gmail.com

「ささえあい」をテーマに掲げ、介護や福祉に関する事業活動を行い、だれもが安心して暮らせる地域福祉の増進に寄与することを目的として活動しています。



当会のロゴと研修等の様子です

HP: <http://kawasakikaigo.info/>

NPO法人 ナルク川崎「だるまの会」

助け合いと奉仕で生きがいをつくる

代表 花崎良政 ☎044-888-6206
事務局長 柳下経子 ☎044-411-0351

<創設の趣旨>

・シニアが自立し、助け合いと奉仕で生きがいを創る。

・本部は大阪、全国に90の地域毎の拠点支部

・拠点毎に地域に密着し、自律的に運営する。

<活動の特徴>

・会員交流で会員相互の理解を深め、会員のスキルや相互協力を発揮する。

・拠点毎に運営委員会で協議し、出来る事出来る時を決めて活動していく。

・年会費は、一人3,000円ですが、夫婦でも同額であるので、約半数は夫婦会員です。

メール: y-hana@swan.ocn.ne.jp

1994年(平成6年)に任意団体として発足。

2000年(平成12年)にNPO法人となり、さわやか福祉財団、シニア社会学会等の福祉財団と連携、会員総数11,520名。川崎拠点は51名で活動しています。

来年、設立30周年を迎えます。全国に仲間がいますので新会員を歓迎します! 「会員募集中」



全国17エリア毎に連絡協議会があり、川崎は南関東エリア協議会のメンバーで3カ月毎の協議会で運営している。

HP: nalc-kawasaki.sakura.ne.jp

かわさきJプロジェクト+

福祉とものづくりの橋渡し

代表 山縣 篤
担当 水谷 武司 (090-1127-4278)

2010年より活動開始、Jカフェの開催、福祉機器開発に関する評価活動、展示会への出展など。自助具や福祉機器の普及を推進して、現場の負荷を軽減し、よりよい福祉環境の実現を提案します。

メール: j-project@kis-plus.jp

介護や福祉に役立つモノ・システムを見つけたり、勉強したりしています。

新しい力を募集しています。

コロナを乗り越えたシニアの力



ごえん楽市で取り組んだ自助具(生活利用品)のワークショップの一コマです。今年は足や靴に関わるテーマを企画中

HP: <http://j-project.kis-plus.jp/>

認定NPO法人かわさき創造プロジェクト

シニア世代の社会参加支援

代表 松井 洋一 ☎ 044-946-2550
 事務局長 栗田 正道 ☎ 044-599-2044



皆さん、一緒に活動し、セカンドライフを楽しみましょう！

〈設立から今日まで〉

2005年に任意団体「かわさき創造プロジェクト」を設立、2006年にNPO法人となりいくつかの事業に挑戦、2019年認定NPO法人となりました。現在の会員数は約80名、幅広い事業活動を展開しています。

〈目指しているのは〉

- ・シニアの皆さんが地域参加できる活動の機会と場を作ります
- ・シニアの皆さんの知恵と経験を生かし、地域課題の解決を目指します
- ・行政や他の市民団体と協働・連携し、まちの活性化を推進します

◇ こんな活動をしています

- ・ **シニアの社会参加事業**
シニアライフ講演会、傾聴講座の企画・運営を行っています
- ・ **パソコン・スマホ学習支援事業**
シニア向けのパソコン・スマホ教室を開催しています
- ・ **教育活動支援事業**
寺子屋の企画・運営を行っています
- ・ **地域情報受発信事業**
シニアリポーターがシニア向け情報取材、ポータルサイト「かわぼ」で発信しています
- ・ **ゆうゆうサロン事業**
手芸、健康マージャンなど趣味を通し楽しみながら交流する場を提供しています



メール: secretary@kawasaki-sozo.net

HP: <https://kawasaki-sozo.net>

特別

川崎市役所健康福祉局長寿社会部 高齢者在宅サービス課

シニアの生きがいづくり支援

課長 堀江 真樹

<業務内容>

- ・高齢者の社会参加といきがいづくりに関すること
- ・高齢者の在宅福祉に関すること
- ・高齢者の外出支援に関すること

<令和5年度開催イベント>

・脳と身体を元気に保つためのウォーキング新常識講座

・自主グループ活動体験コース(みんなでまち歩き体験・仲間とつながる！スマホ体験コース)

・かわさき健康・介護フェア

他にも、かわさき創造プロジェクトと共催で今回のシニアライブ講演会等のイベントを行っています。

メール: 40zaitak@city.kawasaki.jp

【ぜひご参加ください！】

・令和6年1月26日(金)に高津市民館で「かわさき健康・介護フェア」を行います。由美かおるさんの講演等開催。楽しく健康づくりのヒントをお伝えします。体験ブースの設置も多数予定していますので、奮ってご参加ください。★入場無料、先着順のプレゼント有。



昨年度の「かわさき健康・介護フェア」の講演会の写真です。ホールではそのほかにファッションショーや寸劇、市民団体の活動発表などを行いました。

HP: <https://www.city.kawasaki.jp/>

特別

株式会社フォート・ナカイ

テレビでお馴染み鉄道写真家

鉄道写真家 中井精也

事務所窓口 ☎048-940-1019

1967年、東京生まれ。鉄道の車両だけにこだわらず、鉄道にかかわるすべてのものを被写体として独自の視点で鉄道を撮影し、毎日、その日に撮影した鉄道写真をブログで公開する「1日1鉄！」や、鉄道で感じる旅情やゆる～い雰囲気 작품을にした「ゆる鉄」など新しい鉄道写真のジャンルを生み出した。

また、2021年9月から日本全国を回りながら自らの作品を販売するギャラリー&ショップ「ゆる鉄画廊 NOMAD」を展開中。

2024年4月に「1日1鉄！」は20周年を迎え、全国の美術館で写真展を開催予定。

メール: garou@fotonakai.com

<ゆる鉄画廊NOMAD(ノマド)とは>

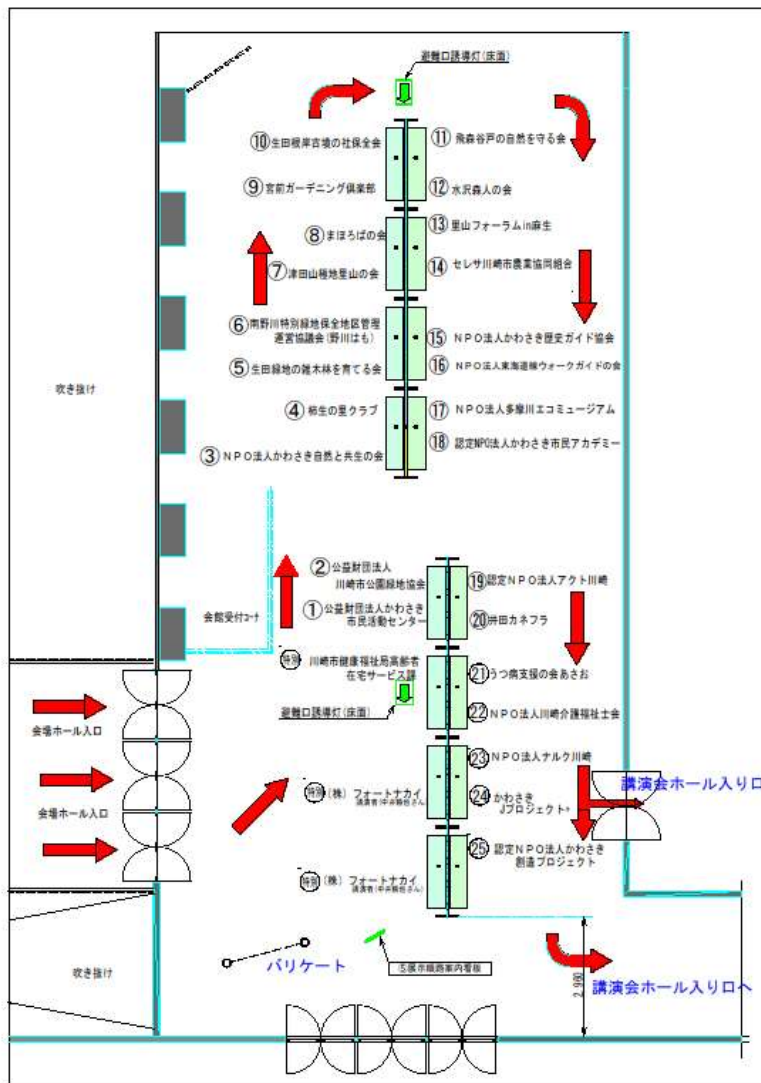
鉄道写真家中井精也の鉄道写真作品の展示販売をする移動型ギャラリー&ショップです。全国のギャラリーやイベントスペースをお借りしながら、月1のペースで開催しております。NOMAD(ノマド)とは、遊牧民の意味です。

ゆる鉄画廊 NOMAD

「1日1鉄！」20周年を記念して、2023年11月からクラウドファンディングを利用した写真集の制作を行います。詳細は、下記HPからご覧ください。

HP: <https://ameblo.jp/seiya-nakai/>

第15回シニアライフ講演会 パネル展示



2023年度シニアライフ講演会パネル展示配置

メモ

本日はお越しいただきありがとうございます。
開演時間まで、各団体のパネル展示をご覧ください。



第2部終了後、中井精也さんの「ミニ図録写真集」
プレゼント抽選会があります。
最後までお楽しみください。

※ 尚、お帰り際には、アンケート用紙のご記入をお願いいたします。

本冊子に関するお問合せは、
認定NPO法人かわさき創造プロジェクト
事務局までお願いします。

発行責任者
認定NPO法人かわさき創造プロジェクト
代表 松井洋一
事務局長 栗田正道/044-599-2044